

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)
事業所名 あいな園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・現在利用数が少ない為スペースは確保されている。	・基準に満たしているが今後利用人数が多くなってからのスペースの確保が課題。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・配置基準に職員配置を行っている。	・児童が安全・安心に利用できる職員配置を目指していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・指導訓練室は一面フローリング使用している。	・玄関に階段である事で転倒の恐れがある為、改善できるようにしていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・随時室内換気・消毒を行っている。	・引き続き感染症対策を行い、常に空間を清潔に保てるようにしていく必要がある。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・現状は職員間の連携などPDCAサイクルを活用する事が少ないため、あらゆる場面で連携を図れるように目指していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者評価に基づき要望等については改善できるように努めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・毎年法人HPIに公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・現在は実施していない為、今後については検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・今年度も様々な研修に参加している。(オンライン研修)	・随時必要な研修を職員に提供していく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・保護者面談でニーズなどを聞き、支援計画に反映させていく。	・日々成長とともに課題が変化するため、必要に応じて随時計画を作成する必要がある。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・引き続きアセスメントツールを使用していくように努めていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・ガイドラインに沿って適切に行っている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・計画に沿って支援を日々行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・集団・個人プログラムについては、一部職員での立案も多々ある為、全職員で意見を出し合って考えていく必要がある。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・日々固定化しないように、季節ごとのさまざまなプログラムを提供できるようにしていく。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・利用児童が少ない為、どうしても個別活動中心の計画となっている事が課題。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・出勤時に簡単な打ち合わせにてその日の支援内容を確認している。	・必要な連絡事項はLINEワークスを利用し常に全職員が共有できるようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・その日の支援を振り返りを共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援日誌に記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的モニタリング(概ね6か月に1回)を保護者に行い、日々の様子などを聞き取り、計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・必要に応じて参画している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・現在は関係機関との連携がないが、必要に応じて連携していく必要がある。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・現在は利用がない。
	㉔	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			・現在は利用がない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・相談支援センターも交えて情報共有はしていく必要がある。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・必要に応じて対応していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・現在は行っていないが、研修については職員に周知していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・交流は今後検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・必要に応じて参加していく。
		⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡ノート・送迎時を通して行っている
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・ペアレントトレーニングについては取り入れていない為、研修を受けて活用できるようにしていく必要がある。
	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に必要な事を説明している。
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・「児童発達支援の提供すべき支援」に基づいた支援計画を作成し、同意を得ている。

保護者への説明責任	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	・相談に対しては、必要に応じて対応している。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				・必要に応じて開催を検討する。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・できる限り対応できるように努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・昨年度は通信を発行しなかったため、今年度は季節ごとに通信を発行できるようにしていく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・保護者との会話の中で他児童の情報を話してしまっている事案もあるので、引き続き全職員に取扱いに注意する事と研修なので学べるように努めていく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民が参加できる行事は実施していないが、コミュニケーションはより一層必要に感じる。
非常時等の対応	④⑪	急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・年2回避難訓練を実施している。	・作成済みだが、職員・保護者に周知不足。職員会議・面談等で周知する必要がある。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・定期的に訓練を実施していく。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・利用契約時、面談時などで聞き取りしている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・現在は該当者なし。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・作成し職員間で共有している。	・事例が少ないので、ちょっとした事でも作成し再発防止に向けて努めていく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・全職員で研修し、適切な対応を行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・該当利用者がいないが、必要に応じて説明・計画に記載していく。